

いっぽ

～スムーズな小学校入学に向けて～

発行 訓子府町認定こども園・訓子府小学校・居武士小学校
(訓子府町幼小連携検討会議) 令和3年12月21日 発行



【はじめに】

少しずつ、ご家庭でも小学校入学の話題が出てくる頃なのではないでしょうか。毎年、冬休み前のこの時期に、『就学の際に子どもにどんなことが必要なの?』といった不安や心配の声が保護者の方から聞かれます。

そんな皆さんの不安や心配にお応えして、訓子府町幼小連携検討会議から、就学前に気を付けてほしいこと、身に付けてほしいことを話し合いまとめてみましたので、お知らせ致します。

お子さんの成長を振り返りながら、就学に向けての不安を取り除き、入学への準備に役立てていただければと思います。



1、学校は楽しいところ



新しい環境というのは、子ども達にとって期待と不安が入り混じった気持ちになるものと思います。少しでも、子ども達の不安が少なくなるように、小学校は楽しく勉強したり、運動をするところだということをお話してあげてください。

2、あいさつと返事について

【元気のいいあいさつは、集団での生活を送る上で大事なことです。コミュニケーションの基本にもなります。】

元気よく挨拶できることは、社会生活上とても大切なことで、心身の健康の表れです。お子さんが、自信をもって元気に挨拶ができるようになるとよいですね。

こんなことが、しっかりとできるとよいですね。

- ・「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」などが元気に言える。
- ・名前を呼ばれたときに「はい」という返事などが進んでできる。
- ・自分の名前、保護者の方の名前が言える。



3、自分のことは自分で

【準備や片付けを自分でできるようにしましょう。】

・かばんの中身の準備・片付けをする習慣をつける。⇒入学後に、自分の持ち物を整理したり、配付のおたよりを保護者に忘れずに見せることなどにつながります。

ご家庭での、片付けのルールを決めておくことも大切です...

- ・時間の区切りを付けられるよう、長い針が■■までに準備する・食べ終わる・・・などの目安を付け、自分で時間の意識をもって行動できるようになるとよいでしょう。
- ・自分の思いや困ったことを人に伝えられるとよいでしょう。

4、生活習慣について



1人でできるように家で練習しましょう。また、家族間での共通のマナーも必要です。

- ・『早寝・早起き・朝ごはん』の規則正しい生活で、元気に朝を迎えることが大切です。
- ・食事のマナーなどを見直しましょう。正しい姿勢で食べる、茶碗をもって食べる、食器に手を添えるなどの食事のマナーを意識できるよう気を付けてください。これらのことは、文字を書く時に紙を押さえることや、話を聞く時の正しい姿勢にもつながります。

小学校にもつながっていく大切な習慣です。もう一度、お子さんの姿を見直してみましょう。

<p>1 正しくえんぴつを持つように、はしを1本持つ。</p>	<p>2 上のはしを「1」の字を書くようにたてに動かす。</p>
<p>3 もう1本のはしを下のはしとして、親指のつけ根と薬指の先ではさむ。</p>	<p>4 上のはしだけを動かすように練習する。下のはしは動かさない。</p>

子どもの時についた癖は、なかなか直りません。早くから正しいマナーを身に付けられるように接して下さい。箸の持ち方も、今一度確認をしてください。



自分一人で安全に留意して、登下校できるようにしておきましょう。

5、通学路について

徒歩で通学するお子さんは、お休みの日などに、おうちの方と一緒に学校までの道のりを歩く練習をすると安心です。交通のきまりや、危険な場所などをお子さんと一緒に確認して下さい。

交差点の渡り方や信号の見方なども確認しておきましょう。

雪が降ると、道路状況や家の軒先の雪など、危険な所も変わります。季節ごとに何度か一緒に確認するとよいでしょう。

学習面について

「人の話をしっかり聞く」ことができますか？



小学校入学を控えると、【勉強・学習】に気持ちが向かいがちかと思いますが、まずは、土台作りとして親子の触れ合いの中での学びを大切にしてください。

冬休みが始まるにあたり、お子さんとゆっくりと向き合える時間を作ってみましょう。そこで、一緒に何かを見たり、聞いたり、読んだり、作ったり、遊んだり、という親子の触れ合いを大切にしてください。

一緒に考えたり、間違いに気づかせたり、褒めたりという親子の一对一の関係が、学びの基本です。

その中で、「自分を大切に思う心」や「人の話を受け入れることのできる柔軟な心」「間違えてもすぐに折れない強い心」が育ちます。

まずは、親子の触れ合いを通して「豊かな心」を育てていくことが一番大切です。

1 聞くことについて

人の話が聞ける子どもは、自分の話をしっかり聞いてくれる大人が傍に居てくれる子どもです。子どもの話に耳を傾け、いろいろな物事に対する興味・関心を高めて、『意欲』を育てていきましょう。そうした関わりの中から、落ち着いて、人の話をしっかり聞ける態度が育ちます。

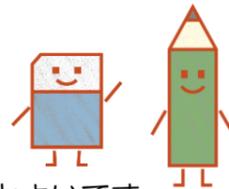
2 文字の読み書きについて

自分の名前が読めると、子ども達も少し気持ちが楽になり、小学校生活をスムーズに迎えることができます。

親子のスキンシップを兼ねて、読み聞かせなどの活動の中で、文字を読むことが楽しいという経験を多くもたせ、文字への興味・関心が広がっていくようにするとよいでしょう。

3 数字について

数字についても教え込むのではなく、親子での遊びを通して、自然のうちに興味をもたせ、10位までの数を数えたりできるとよいでしょう。その場合、具体物とマッチングさせて物の数を数えていく経験ができるとういでしょう。



鉛筆の正しい持ち方

鉛筆と箸の持ち方はつながっています。箸の持ち方も、鉛筆の持ち方も、ご家庭で気を付けて見てあげてください。



じっと座ってられない、立ち歩きが多い、姿勢が崩れる・・・などの姿のお子さんが、園生活の中でも見られます。

ご家庭では、注意する事よりも、そのような状態となる原因を探る事が大切です。そうするとお子さんへの接し方や対処の仕方も見えてきます。

自分自身の気持ちや行動をコントロールして、我慢したり、仲直りしたりすることができる力を育てることも大切です。

そのためにも、よく子どもの『声』を聞いてあげることが大切です。

【保護者の皆様へ】

『子は親の背中を見て育つ』と言います。大人が正しい考えや関わりをもつことで、子どもにも正しいことが伝わります。目を見て自分の思いを伝えられなかったり、話を聞くことができない子が増えてきているというさみしい話題も耳にします。

大人が、携帯電話やスマートフォンを操作しながら食事をしたり、お子さんの話を聞く時もスマートフォンを離さないといった光景も見られます。

忙しい中でも、お子さんの目を見て話を聞くなどコミュニケーションを大切にしましょう。

現代は、ゲームやソーシャルメディア（YouTube など）が子どもたちに身近な物になり、ゲームやネット依存につながりかねない状況です。お子さんと【ゲームや動画を見る時間を決める】、【家族で、スマホ等を触らない時間を作る】など、家庭でのルール作りを大切に保護者がきちんと管理するようにしましょう。

就学に向けて、一番大切な事は、小学校に入学するという期待感です。

ここに書かれていることを押し付けるのではなく、お子さんの話に耳を傾けるなど親子で向き合うことを大切にしながら、楽しく入学を迎えられるとよいですね。

就学という大きなステップアップを控えたこの時期。この『いっぽ』を読み、お子さんの成長を振り返り、一度立ち止まって、ご家庭での指導や関わりに活かしていただくと嬉しいです。

【お願い】

ランドセルや机など、入学の準備が進んでいるかと思います。文房具につきましては、1日入学の準備説明を聞いてから、筆入れや鉛筆、ノート、消しゴムなどを用意して下さるようお願いいたします。

